

科目区分：スポーツ指導者養成コース
授業科目：スポーツイベント理論・実習
担当教員：堺 賢治
受講生数：18名

スポーツイベント理論・実習

保健体育・堺 賢治

1. 授業の目的

スポーツイベントは何かについて概説し、実際にスポーツイベントを企画し、実践する。この中で現在の学生に欠けている「企画力」や「実践力」を身につけさせようとした。

2. 授業の概要

愛媛大学総合型クラブの会員対象のイベント：子どもチャレンジ

愛媛大学総合型クラブの会員外へのイベント：3ON3・フットサル大会

日時：11月27日（土）9時～29時

場所：愛媛大学第一体育館

愛媛大学第二体育館

愛媛大学樋又グラウンド

3. 役割

総務・副総務：3名

タイム・スケジュールの作成

当日のタイム・テーブルの作成

全体の総括

企画：6名

企画の決定

企画の役割分担

演出

広報：4名

どうして人を集めるのか

PRの方法

ポスターの作成

財務：2名

予算案の作成

予算の管理

食：2名

豚汁

4. 学生の感想

(1)自分の役割と何をしたのか

総務として、全体の仕事のチェックや集まった時に中心となって動いた。全体のタイム・テーブルを作成した。

総務として、全体の役割の分担や、人の割り当て、進行状況のチェックなどをした。当日は、司会やバスケットボールの本部の業務をした。

イベントの企画。企画長として、タイム・スケジュール把握する。子どものイベントプログラムの作成。当日の準備物（イス、机、用具・資料配置の決定）の確認。

企画係として、イベントで何するのかの決定を行った。子どものイベントの内容を担当し、当日の日程・種目を考えた。屋台村では、紙飛行機を担当し、紙飛行機の折り方を調べ、子どもたちに教えた。

フットサル大会の代表者としてフットサル大会の企画・運営をした。参加申込書を作成したり、試合当日のスケジュールを考え、作成した。参加者全員への参加賞や上位チームへの景品の購入をした。

バレーボール大会の責任者として、企画・広報等を行い、参加者を集めたが、この時期はバレーボール大会が多く解されており、参加者が集まらず、バレーボール大会を中止した。

財務となり、予算案・収支報告書の作成をし、保険加入者のリスト作成、参加者のチームをきめた。コミュニティセンターに行き、ポスターを貼ってもらいに行ったり、電話番号などを行い、当日は受付をした。

食を担当した。食では予算案を考え、何を買えばいいか、作る手順を調べたりした。コンロや鍋は生協の方から無料で借りることが出来たので苦労しなかった。本番前日に材料を切るなどの下ごしらえをした。当

日は、食係と一緒に豚汁を作った。

(2)何に一番苦労したのか

みんなの仕事の管理をした。なかなかスケジュール通りに進まなかったのが苦労した。しかし、みんな協力してくれたのでなんとか終わりました。

広報活動で出遅れたので、参加者集めにとっても苦労しました。大学祭でも愛媛大学総合型クラブの存在認知やイベントの宣伝をしたが、なかなかPRできず、どのようにアピールすべきかととても悩んだ。

屋台方式にした場合、参加者に時間知らせ、なるべく多くの人にまわってもらおうとするのが難しかった。

決めていた予定通りに準備を進めていなかったのが、後半になって苦労することが数多くあった。広報活動も始めるのが遅くなってしまい、予定していた人数を集めることが出来なかった。イベント当日もぐだぐだしていたので、リハーサルが必要だったのではと感じた。

交流会の子どもと保護者のチーム編成が難しいと感じた。

大会当日はしっかりしたスケジュールを組んでいたおかげでスムーズに進めていくことが出来た。一番苦労したのは人集めです。呼びかけて「出たい」と言ってくれる人は多いが、実際に申込用紙を期限まで出してくれる人は一部分の人で、期限が過ぎた後に出たいと言ってくる人達もいて、難しい問題であると感じた。また、サッカーとは違うフットサルということで、細かいルール把握、グラウンドの設営等を含めて当日までにすることは本当に大変でした。しかし、私にとって、とても大きく、貴重な経験になりました。

参加者を集めること。申込期間の短さと、他のバレーボール大会の開催が重なり、なかなか参加者を集めることが出来なかった。バレーボール教室の会員さんの参加の有無がきちんと管理できていなかった。そのため、当日受付でバタバタしてしまったので、日頃からの名簿管理やメールチェックの徹底が必要である。

200人分の豚汁を作ることが初めてだったので、どのくらい材料を買ったらいいか分からなかった。味付けも、どのくら

いすればいいのか調整が難しく少し薄味になってしまった。1回試しで作っていただければよかったと思う。1人分のめあすから200人分の計算をした方が分かりやすかったかも知れない。

(3)イベントの改善点は何か

広報活動の時期・方法を考える。募集の期間をもっと長く取り、方法も不備がないようにしておくべきでした。当日のタイム・スケジュールの時間配分が上手くいっておらず、時間が足りなかった。豚汁の材料をもっと買ってあげればよかった。

早期に宣伝を開始できるよう準備する。子どもが本当に興味をもちそうな内容設定をする。学外の参加者が参加できるようにする。

全体的には、会員さんや参加者に楽しんでもらうことが出来、成功できたと思う。学生の準備が遅れて、広報活動不足や申込開始から〆切までの期間が短く、予定よりも参加人数が少なかったことは、もう少し開始時期を早める必要があったと思う。

人集めの方法はよく考えるべきだと思います。今回は、ビラ配りだけでなく、FAX、メールでの受付もしましたが、なかなか思うように集まっておらず、ミスが起こったのも現状です。あとはスケジュールをもっと細かく考える必要があると思います。

〆切を守らせるようにすること、掲示物に間違いがないかを確認すること。

準備を早くする。各役割、先生との報告、連絡、相談をする。前年度の改善点を生かす。

5. おわりに

(1)愛媛大学総合型クラブ会員と会員外のイベントであり、問題点は多くあったがなんとか成功させることが出来た。

(2)イベントの取り組みに学生たちの温度差があったようだが、この問題は次年度は学生に解決させようと思っている。

(3)講義とは違って、フィールドでイベントを企画することは、学生に取って何かを得られたのではないかと思われる。